



発行/株式会社 田中家石材
住所/彦根市高宮町1-0-1
電話/0749(2)5888

VOL. 21

HP ● <http://www.tanakaya-sekizai.com/>
Mail ● info@tanakaya-sekizai.com

お盆です。

お仏壇とお墓に手をあわせましょう。

御先祖と親の恩

今の自分が存在するのは、我が身を生んでくれた父母がいて、先祖があるということだと思えます。人間は自分というものを一番大切に自分を愛するもので、どうして存在しているのかを忘れがちです。

そして、全ての人に先祖があり、両親がいるという事実は否定できません。こうした中で自分自身が、まず親のおかげでこの世に生まれ育てられてきたということですから、その親に対して感謝の心を持つということは、当然のことであり、忘れてはならないことだと思えます。

仏教は仏様・先祖・親に対する報恩の行為を善行と説き、それによって祈る者が果報を受けると説いています。お寺の「本尊・お仏壇・お墓にお参りされる習慣をつけましょう。

お仏壇・お墓に六つの気を

この世を去って、あの世に住むご先祖の食事は「気」と云われています。その方たちへの供養は「六種供養」といって六つの「気」をささげます。一つは、きれいな水の精気。二つは、新鮮な花の生気。三つは、焚きたてのご飯やお茶の湯気。四つは、線香の香気。五つは、手の平に塗るお香の塗香。六つは、ろうそくの光気です。お参りされる折は、できればこれだけのお供えを用意したいものです。(宗派によって違います。)

檀那寺(だんなでら)

お寺というものを規定すると、伽藍、精舎ともいえます。仏像を安置し、僧侶が居住して仏道を修し、これらを檀信徒に説く所をいいます。檀那とは他の人に物を施すこと、あるいは施す人のことで、寺院を維持するものを檀家といい、それに対して檀那寺といえます。

晋山式(しんざんしき)

寺院の長の就任披露の儀式を晋山式と呼ぶことが多いですが、そもそも、どんな意味があるのでしょうか。奈良・西大寺の僧でもある佐伯俊源・種智院大教授によると、晋山とは「山に晋む」こと。山が寺を意味するのは、中国では寺院を山に建てるが多かったため、寺名に冠した山名を「山言」と呼びます。

薬師寺、東大寺、法隆寺など平地に造られた奈良の寺の多くは山号を持ちません。鎌倉時代になると、禅宗で寺格を示す中国の五山制度が伝えられました。

日本でも禅寺に山号が付けられるよう

寺院トップの呼び方

管主	薬師寺
貫首	永平寺、興福寺、浅草寺
貫主	清水寺、広隆寺、大安寺
化主	智積院、長谷寺
座主	延暦寺、金剛峯寺、醍醐寺
長者	東寺
長老	西大寺、泉涌寺、唐招提寺
別当	東大寺
法主	永観堂禅林寺、久遠寺、普通寺
門主	西本願寺
門首	東本願寺
門跡	知恩院、仁和寺、法華寺

※貫首・管主・貫主は「かんす」「かんしゅ」など寺によって呼び方が微妙に異なります。(呼称と寺名は五十音順)



お寺のない人は どうしたらよいか

最近、法事を営む時、また葬式を行う時も、核家族化し、故郷を離れて遠くに居を構えているという場合が多く、仏事について困ることがよくあります。年忌や月参りなど頼もうにも「檀那寺がない」というのが、最近の都会に居住する者の実情です。故郷から僧侶を呼ぶにしても、距離的、経済的な問題から、無理な場合も多くあります。このような時も、故郷の檀那寺から、同宗派の近くの僧侶を紹介してもらるか、葬儀屋さん、仏壇屋さん、石屋さんを紹介してもらおうと良いでしょう。

直接お寺さんにお願しても紹介でなければ難しいことがあります。どうしてもそのようなことができない場合は、残された者が毎日手を合わすことであり、お盆やお彼岸に努めてお墓参りをするという事です。

禅のことば

◆水到れば渠成る

(みずいたればきよなる)

水が流れていけばそこには自然と溝ができるという意味です。何もなかった土地も、水が流れて溝ができ、やがて大河になることもあります。

『老子』にも「最上の善は水のようなもの(上善如水)ようぜんじよすい」ということが説かれています。

数珠とは

合掌する手に掛け、仏さまと心を通い合わせる法具であり、仏教徒にとっては忘れてはならない必需品です。常に数珠を持って仏さまを念じておれば、煩惱を消滅し、功德をえるといわれています。それは念仏を唱えるとき、一声ごとに一玉操って、何回となえたかを数えることに用いたからともいわれます。

浄土宗の法然上人などは、「身を浄め、手を洗って、数珠を取れ」と仰しやっています。浄土宗の蓮如上人は、御文章(御文)二帖目に「当山の念仏者の風情を見及ぶに、数珠の一連をも、持つ人なし。さるほどに仏をば手づかみにこそせられたり」と書かれています。仏さまに向かうときは、数珠を手にするようにと、戒めているのです。

数珠は、正式には108の珠を基本として



水は万物に利益をもたらしながら、けつして他と争わず、丸い器に入れば丸くなり、四角い器に入れば四角におさまる。しかも人のいやがる低い位置に身を置くというのです。

この「水到れば渠成る」という語は、すぐれた師のもとには自然と人が集まってくるという意味に用いることもあります。急ぐこととはないので、人を傷つけることなく、方向を見失うことなく、肅々とあなたの信じる「道」を歩んでいきましょう。

「禅のことば」より

八十歳の歳月の高みにて

青春とは人生のある時期のことだけではない
心のあり方のことだ
人は歳月を重ねたから老いるのではない
理想を失った時に老いるのである
歳月は皮膚にしわを刻むが
情熱の消滅は魂にしわを刻む
人は希望がある限り若く失望とともに老いる

サムエル・ウルマン(松下幸之助やマッカーサー元帥が愛した詩の一文です)